



2016-2017

KAWANOE WEEKLY

H. 29. 1. 31

No. 29



ピエロ 油彩 谷 晶子



人類に
奉仕する
ロータリー

2016-2017年度国際ロータリー会長
ジョン F. ジャーム

- 会 長 横 内 文 行
- 幹 事 谷 裕 二
- 会報委員長 土 肥 義 紹
- 例 会 日 毎週火曜日
12:10~13:10
- 例 会 場 四国中央商工会議所
電 話 58-3530
F A X 58-6294
- 事 務 局 四国中央商工会議所
電 話 58-3530

石 州 和 紙

篠 原 正 能

先日、紙のまち資料館運営協議会の研修旅行で石州和紙会館（島根県浜田市三隅町）を訪ねました。そして、ユネスコ無形文化遺産、重要無形文化財の石州半紙があるのに驚きました。その時に頂いたパンフレットに基づき石州和紙を紹介致します。

【石州和紙の歴史】

手すき紙は元興元年（105年）に中国の葵倫によって発明され、日本へは推古18年（610年）に曇徴により伝来されました。石州和紙（石州半紙）は島根県の西部（石見地方）の地域で漉かれています。歴史上、文献に石州（石見）の名が登場してきますのが延喜式（905年）です。その中で、「中男作物（20才前後の男子が作って納める郷土の産物）に紙を四十張（枚）」と義務づけられた42ヶ国の一つに上げられています。

しかし、寛政10年（1798年）に発刊された国東治兵衛著書の「紙漉重宝記」によると「廣雲・和銅（704年~715年）のころ柿本人麻呂が石見の国の守護で民に紙漉きを教えた」と記されており、約1300年もの間、石見（石州）地方では、手すき和紙が漉き続けられ守られてまいりました。

石州和紙（石州半紙）は原料に楮・三椏・雁皮の植物の韌皮繊維を使用し、補助材料としてネリに「トロロアオイ」の根の粘液を使い、竹簧・萱簧を柎にはさんで「流し漉き」により、つくられます。生産の最も多い石州半紙（楮紙）は地元で栽培された良質の楮を使用して漉かれ、微細で強靱で光沢のある和紙であります。かつては大阪商人が石州半紙を帳簿に用い、火災のときいち早く井戸に投げ込んで保存を図ったものです。

このように先人たちから引き継がれた技術・技法を守ることにより石州半紙技術者会が製造しています「石州半紙」が昭和44年（1969年）国の重要無形文化財に指定を受けました。また、重要無形文化財の「石州半紙」を代表とする石州和紙の技術・技法は、三隅町を中心に住む職人の手で一貫して保持されており、今後の総合的振興を図るために石州和紙協同組合を設立し、平成元年（1989年）に経済産業大臣指定の「伝統的工芸品」に「石州和紙」が指定を受けました。

平成21年（2009年）、ユネスコ無形文化遺産の保護に関する条約に基づく「人類の無形文化遺産の代表的な一覧表」に「石州半紙」が記載されました。

★★自己（会社）紹介等コーナー★★

（株）本田洋行について

田 辺 龍 夫

本田洋行の起源は中国遼寧省の大連にあります。社名の“洋行”の意味は、辞書によると、「中国で、外国人の経営する商店の称」とのことです。

創業者である本田賢二の両親が大連で食料品店を経営しており、大正十二年に撮影された店の写真には、本田洋行と書かれた大きな看板を見ることができます。

満州医科大学で薬学を学んだ本田賢二は、昭和二十一年に日本に帰り金生町に本田薬局を開設しました。その後、本田洋行薬局に名前を変え、地元製紙業向けの工業薬品の販売も始めました。昭和四十三年には現在の住所に本社と自宅兼薬局を建設しました。

商店としては薬品、工業薬品に加え、パルプやその他の製紙用資材の販売を始め、また、工場を建設し、不織布の製造とプラスチック成型を始めました。

現在では、商事部門は、薬品、パルプ、製紙原料の他に、衛材・ウェットティッシュ製造業向けの資材（主に不織布）の販売をしています。

製造部門では、プラスチック成型、ラミネート、メディカル関係器具を製造、或いは加工しております。

これらは、メーカーであるお客様に納入する中間素材であり、地元のものづくりの流れの中で事業をさせていただいております。

約3年前からは、当社では初めて消費者に直接届く製品である、手袋型のウェットティッシュをつくり、ペット向け、対人用の体拭き用、シャンプー用を全国のホームセンターやドラッグストア

などに展開すべく販路の拡大に取り組んでいます。

近年、海外特に中国からの輸入品の扱い量が多くなってきました。現地のメーカーとしては、我々の会社規模ではなく、人間関係重視で一緒に熱心に取り組んでくれるところと取引きするようにしています。訪問すると白酒でのしつこい乾杯には閉口させられますが、上海などの大都市圏や、若い人達の間では、この習慣もかなり薄れてきているようです。

私は本田洋行に入社して初めてこの地を意味する“北四国”という言葉を目にしました。一般的には愛媛・香川2県のことですが、紙業界では同じ製紙が盛んな高知や他の地域に対して特に四国中央市周辺を指している意味合いが強いと思います。そして、北四国の人間は転んだらただでは起きない、とか、北四国の人間が歩いた跡はペンペン草も生えない、と言われていました。恐らく、その勤勉性を称える言葉だとは思いますが、ケチで油断も隙もならないことを表現しているとも言われています。(こちらが主流?)。

いずれにしましても、この地域の産業の発展に貢献できるよう、全社で取り組んで参りたいと思っています。今後とも宜しく願いいたします。

第2688回 例会記録 H. 29. 1. 24

出席報告

1. 出席会員 (51名中) 39名
2. 当日出席率 78.00%
3. 前々回補足修正率 92.00%
(メイクアップ会員)
1/6 石村 浩 会員 (伊予三島RC)

結婚記念祝(1月)

- ・長野 光正 会員(45周年)
- ・石川 雅二 会員(36周年)
- ・宇高 光重 会員(32周年)
- ・宮内 哲也 会員(28周年)

会長の時間

- ・現・次年度会長幹事会に出席して

委員長の時間

- ・出席報告 出席委員長 石村 榮一 会員

会務報告

1. 例会変更のお知らせ
【新居浜南ロータリークラブ】
① 2月14日(火) (夜間例会)
リーグ新居浜にてメーカーの受付をしております。(事前連絡必要)
2. ザ・ロータリアン 2017年1月号
3. 2017年1月・2月 近隣クラブ例会のお知らせ (出席委員会)

ニコニコニュース

- 横内…ここ数日、寒波の影響で非常に寒い日が続いています。寒さ対策、インフルエンザ対策を十分にして、この冬を、寒さに弱い方も乗り切れるようがんばりましょう。私も夜中にフロ場で1～2時間寝るクセがあるので、濡れないよう・ヒートショックにならないよう気をつけるよう心掛けようと改めて思いました。
- 谷…寒い日が続きます。皆様くれぐれもご自愛ください。
昨日、車で名古屋日帰り出張でし

た。前日の天気予報では、雪マークは無かったのですが、八日市彦根間は大雪と事故で大渋滞。一時は今日の例会欠席も覚悟しました。

田 辺…1月1日より、代表取締役社長になりました。今後ともよろしくお願ひします。

三 谷…先週土曜日、さそわれたゴルフを休んで!! 第2670地区の雑誌委員長長が坂出にてありましたので出席しました。久保さんに乗せて行ってもらいました。ありがとう。本日の7:00の気温4℃。地中21℃でした。

宮 内…本日卓話を致します。皆様の大切な昼時間を無駄にしない様に致します。

山 川…ロータリーバッヂ、忘れました。
大西宣…先週欠席しました。申し訳ございません。

この冬一番の冷え込み、インフルエンザも流行しています。風邪などひかぬように、体調管理に心がけましょう。

卓 話 (国際奉仕委員会担当)

「弊社について」

宮内 哲也 会員

近隣RCの例会日

- 2月2日(木) 新居浜RC
(リーグ新居浜)
- 2月2日(木) 観音寺RC
(観音寺商工会議所)
- 2月3日(金) 伊予三島RC
(三島商工会館)
- 2月7日(火) 観音寺東RC
(観音寺グランドホテル)
- 2月7日(火) 新居浜南RC
(リーグ新居浜)

例会プログラム

- 2月7日(火)
(職業分類委員会 担当)
出席表彰・誕生祝